

施術後の反応について

施術後、身体の悪い部分や、全身に現れる一時的な身体反応を「好転反応」と言います。「好転反応」が出ると症状は、その後快方へ向かいます。

例えば、正座していた人が立ち上がると急に血流がよくなる、そのために足が痺れる。糖尿病の方が一時的に血糖値が上昇したり、アトピー性皮膚炎の方が一時的に赤く腫れたり、不快を感じたりします。弱っている、循環が滞っている細胞の老廃物や有害物が一気に排出されるためです。

①弛緩反応

だるい・眠い・倦怠感など

新しい刺激に体が反応して起こります。臓器や筋肉、関節、神経などが本来の機能を回復し始めると、それまで不具合や異常な状態に合わせて通常として活動していたので、一時的に体の各器官にアンバランスが生じます。少し経つと安定し、正常に戻ります。

②過敏反応

便秘・下痢・痛み・腫れ・ほてり・発汗など

元の体の状態が悪いほど強く症状が出る場合があります。

慢性状態で安定している時、これを解消するためにエネルギーが加わると慢性の前、急性の状態に一時的に戻ります。また複数箇所が悪い時は（肩・腰・膝など）一番悪いところに反応が出て、一番目が治りかけると次のところが悪く感じ始める、と言うように順序良く出てきます。

③排泄反応

吹き出物・発疹・皮膚の変化・目やに・尿の色や量の変化など

自然治癒力が正常に働くことで老廃物、毒素、疲労物質が解毒・分解され排泄され始めます

④回復反応

発熱・痛み・吐き気・腹痛・だるさなど

血行が改善され、うっ血していた血液が一時的に全身に回るために起こります。

血液が肝臓での解毒・肺胞での内呼吸・腎臓での濾過などの工程を経て血行が改善されるに従い調子がよくなります。

①から④の反応が複数同時に出ることもありますが、快方へ向かう過程で生じる正常な反応ですのでご安心ください。当院の施術は、体にかかる負担を考慮し「好転反応」を出にくくしておりますが、反応の出やすい方がおられます。反応の大小問わず、反応が出た場合は遠慮なくお知らせください。次回施術時の刺激を調節いたします。